

日本臨床化学会関東支部常任幹事会 議事録

日 時：平成 24 年 11 月 17 日（土）11:30～12:30

場 所：東京大学医学部附属病院 中央診療棟Ⅱ 7 階中会議室

出席者（順不同）大久保滋夫、芳賀利一、山舘周恒、矢富 裕、山田俊幸、
菊池春人、宮城博幸、青木芳和、戸塚 実、三宅一徳、平山 哲、三井田孝
欠席者（順不動）木村 聡、村田 満、山内一由

1. 報告事項

(1) 来年度以降の学術集会の担当について

平成 25 年度支部総会は、総会長 山田俊幸先生（自治医大検査部）で 5 月 11 日開催予定（日本臨床検査医学会関東甲信越支部例会と合同開催）。内容についての概要について説明があり、了承された。平成 25 年度支部例会は、例会長 三村智憲先生（日立ハイテクノロジーズ）、11 月 30 日（土）（11 時～常任幹事会、13～17 時総会）を第一候補としていると三井田支部長が報告した。教育講演の候補は、石橋先生、藤田先生、山田先生（慈恵医大）らが推薦された。また、今例会より、一般演題の中で一題を総会への推薦演題として選出し、奨励金を授与することが承認された。

2. 審議事項

(1) 平成 25 年度分科会プロジェクト募集について（大久保幹事）

大久保幹事から、現在実施中の 2 プロジェクトについて説明があった。一題は二年目の継続課題で最終年となり、もう一題は新規課題であることが報告された。次年度は平成 25 年 1 月ころに HP 上で募集し、新規で 2 題の採用予定であることが提案され、了承された。

(2) H26 年度以降の支部総会・支部例会の開催予定状況について（戸塚幹事）

H26 年度の支部総会（H26 年 9 月）は、日本臨床化学会年次学術総会（会長 矢富先生）との合同開催とすることが、総会会長の矢富先生のご内諾を受け、幹事会で了承された。また、今後の支部総会・支部例会の開催は、原則として、大学関連で支部総会、企業関連で支部例会を担当することが提案され、了承された。芦原先生、大澤先生、久保野先生、木村先生、島先生、藤田先生、松下先生、らを候補に打診することとなった。

(3) H25 年度予算案について (支部長)

会費の納入率は約 60% で、新規会員の募集だけでなく、総会および例会の参加費 (千円)、運営経費の削減 (メールでの開催案内や幹事の委嘱状の依頼など) などが重要であると報告された。プロジェクトの予算は、3 課題分とすることが承認された。

(4) 支部ホームページの管理について (宮城幹事)

宮城幹事より、HP の改訂の報告があった。目的について、支部総会・例会の案内やプロジェクトの募集、会員情報の集約などの意見が出された。そのため、有料サーバーを新規に手配し、さらに HP の改訂をすすめることが了承された。その費用として、年間 3 万円程度を予算に組み込むことが了承された。

(5) 来年 3 月末での役員任期完了について (芳賀幹事) および (6) 現支部長の来年度からの本会理事就任に伴う支部長選挙について (芳賀幹事)

芳賀幹事より、選挙名簿の確認と日程の説明があり、了承された。詳細が決まり次第、HP 上で案内する予定。

(7) 関東支部会員の現状と若手会員の支部勉強会について (支部長)

新規の関東支部のみの会員は、計 18 名 (H24 年 11 月 17 日現在) で、過去の 2 回の支部勉強会が開催されたと報告がされた。若手主体の勉強会であるが、その他の会員もオブザーバーとして是非参加していただくよう提案された。次回は、平成 25 年 1 月 25 日金曜 19 時～東京都済生会中央病院の予定。

(8) 今後の支部の運営について (学会事務局の一部事務作業代行依頼について)

支部事務局の作業負担の軽減、会員名簿の管理、などについて、関東支部所属の本会理事を中心に今後本会に働きかけていくことが提案された。